

「ふみだした一步」

豊見城市立長嶺小学校 六年

城間 日菜子

「何であんな事したかねえ。」

おばあちゃんがつぶやいた一言。おばあちゃんから戦争の話を聞いた後の一言だった。小さかった頃の話だけど、おばあちゃんのあの一言だけは、今でも忘れられません。

確かに私もそう思います。何のためにあんな戦争が起きたのか、何のために罪のない人たちの命をうばっていったのか、何のために多くの人たちの夢や希望をうばったのか、私には分かりません。あの時、あの場所で、あんな事さえ起こらなければ、多くの人たちの命が助かり、多くの夢や希望が救われたはずなのに。

でも、起きてしまった戦争はだれのせいにも出来ない。なくなった人の命はとりもどす事が出来ない。戦争をして良かった事なんてあったのでしょうか。だれかのためになったのでしょうか。結局、戦争とは何のために起こったのでしょうか。多くの命、希望、夢がうばわれてしまった。そして人間から人間らしさをうばった戦争。私には、こんな悲惨な事が、この平和な日本で起きたなんて信じられない。信じられないというよりも信じたくないと思います。今の私達には、「こはんが食べられる」「きれいな水が飲める」「ケガをしたら病院に行ける」「安心して生活が出来る」。こういった事が私達には当たり前です。

でも戦争の時は、これが当たり前ではありませんでした。私が聞いた話では、道ばたで人がたおれていたり、何日もごはんが食べられず、水もどろ水という事が当たり前だったそうです。それを考えると、今私達の「当たり前」というのは、幸せだと感じます。

今までは、どこでもこれが当たり前だと思っていて、幸せだと感じる事はあまりありませんでした。こういった現実をふまえると、今自分がいるこの場所がとても幸せで、すばらしい事なんだと思いました。

今私が幸せに生きているこのしゅん間も、まだ戦争が起こっている国があります。それも国と国ではなく、国の中での戦争だったりします。しゅう教などが違うだけで起こったりする戦争で、関係ない多くの人達がなくなっていくのは、まちがっていると思えます。その人達が悪いことをした訳でもないのに無差別に殺されていく。そんな現実を私は信じたくはないです。自分はとても幸せでそんなつらさは体験した事がないので、あれこれ言える立場ではありません。でもこれだけは伝えたいです。

「戦争なんてもうやめよう」

と。今まで、たくさん平和学習をしてきました。その中で「戦争をしてだれかの役に立った」「戦争をして良かった」なんていう事は、聞いた事もないし、感じた事ありません。むしろ、戦争でなくしたものがとてつもなく多い事が分かりました。

戦争のない事だけが平和ではありません。今世界では、貧困や環境問題など多くの問題が挙がっています。私は前に自分と同じくらいの子どもがマンホールに住んでいるのを見ました。親がいなくて、シンナーをすっていました。今の私からはとても考えられない光景でした。

そういう問題を考える事が平和へのはじめの一步になるのではないのでしょうか。まずはぼ金を始めたり、自分の出来る事から始めようと思います。いつかは、世界中の人達が仲良く、今ある貧困などがなくなるような世界にしたいです。そうなるように私もがんばりたいです。一人一人が努力をすれば夢じゃないと思います。

今、こういう問題を考えることで、私達は一步前にふみだせたのだから。